

みんなのでつくる
とちぎの未来。

地域の課題を解決するために
仕組みをつくって志金を集める

 とちぎコミュニティ基金



みんなの想いをカタチにする。 栃木の未来創りをします。

とちぎコミュニティ基金とは

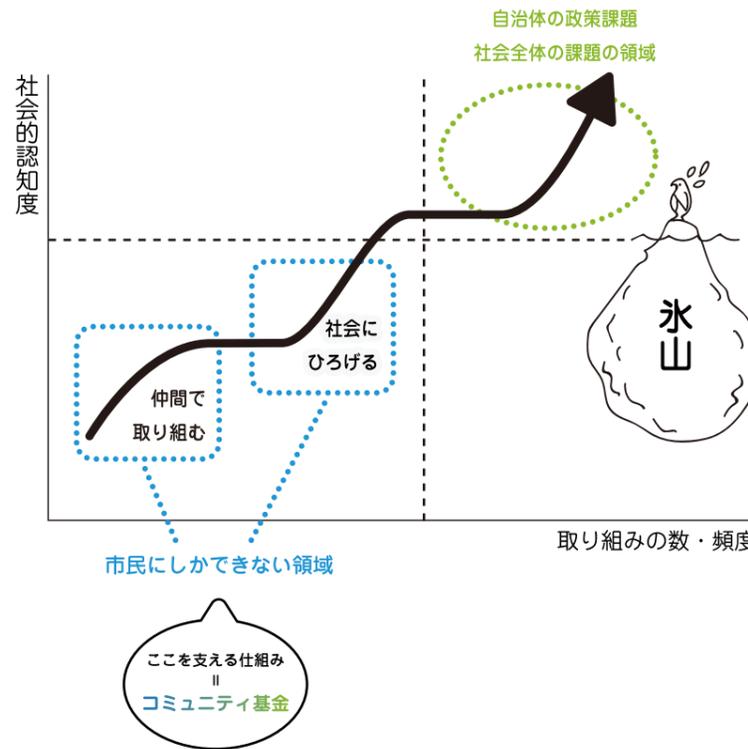
とちぎコミュニティ基金は、みんなで集め、みんなで創る栃木の未来創りのインフラです。地域の課題に対し、人・モノ・志金・アイデアをあつめ、課題解決のために実行します。一般市民、企業、NPOなどさまざまな人が関わっています。

とちコミにはプロジェクト（一緒につくる）・合同ファンドレイジング（集める）・助成（想いを託す）の3部門があります。



誰かの生活を支える公共的なしごとは、誰かがやってくれるだろうと思っている方は多いと思います。しかし、社会的に認知され政策として解決に動く課題というのは氷山の一角にすぎません。水面下には、まだ認知されていない課題が山積み。そういった課題は、わたしたち市民が解決に取り組むしかありません。

その活動を支える仕組みが、コミュニティ基金です。社会的課題を解決するために、市民の力で取り組み、市民の力で広めていきます。



とちコミを通じた寄付総額 2008-2022年

82,639,472 円

栃木の未来づくりを、ともに

社会貢献にはさまざまな形があります。寄付、ボランティア、本業を活かしたスキルやアイデアなど、多様な参加方法があります。できることを持ち寄ってともに栃木の未来づくりをしませんか。

とちコミの「仕組み」を支える「とちコミサポーター」も募集しています。サポーターには、栃木のSDGsと市民活動の今がわかる「とちコミSDGs通信」をお送りします。



こんなことはありませんか？ こんなときはとちコミにご相談ください！

寄付したいけれど、いいNPOやボランティア団体はないかな？

NPOってよく分からない。怪しくないの？

結婚記念日や冠婚葬祭など人生の区切りにあたって、感謝の気持ちを社会貢献で表してみたい。

わが社のSDGs達成に向けて予算をつけたが、有効な使い方はないだろうか？

社会への恩返しの気持ちにぴったりのボランティア団体を探している。

もう年だし、直接ボランティアはできないけど寄付でなら応援したいなあ。

会社の創立10周年を記念して、なにか社会貢献したい。



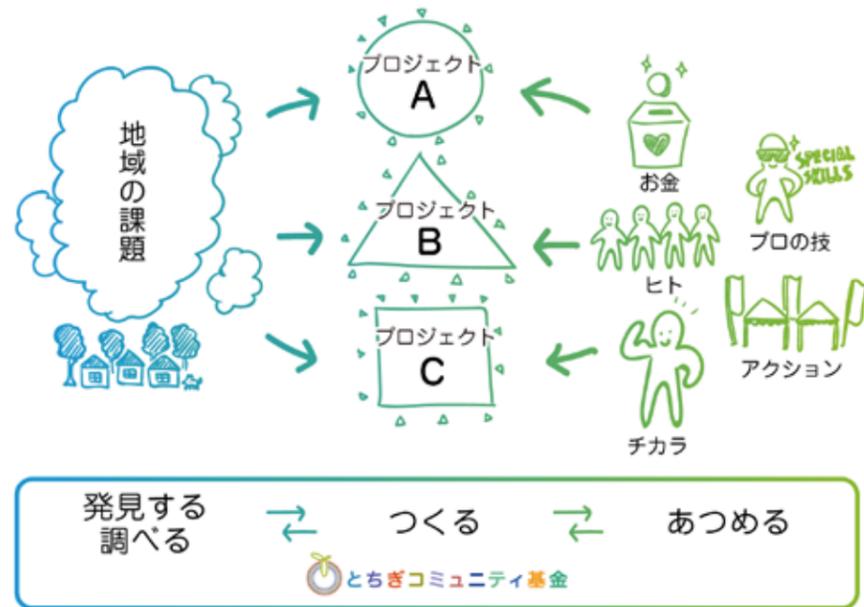
とちコミの歩み

- 2007** とちぎボランティアネットワーク内にとちぎコミュニティ基金設立。「とちぎゆめ基金」開始。
- 2009** 花王ハートポケット倶楽部地域助成（栃木）開始。
- 2010** 合同ファンドレイジングが始まる。「第1回寄付ハイク」で47人が参加、58万円の寄付があつまる。
- 2011** 栃木県主催事業「認定NPO法人になろう！キャンペーン」と連携し、NPO法人への講座を実施。
- 2015** 「第8回寄付ハイク」で122人が参加、62万円の寄付があつまる。「RUN for CHILDREN 子どもの貧困撃退ラン」を行い、35万円があつまった。
- 2016** 「第1回子どもの貧困撃退チャリティ サンタ de ラン」を開催。県内8団体に約234万円をお届け。
- 2017** 県北の篤志家が「たかはら子ども未来基金」を設立。子どもの貧困の現状を調査する円卓会議を実施し、「子どもSUNSUNプロジェクト」がはじまる。
- 2019** 10月に発生した台風19号の被災を受けて、「がんばろう栃木！募金」をあつめ、助成する。
- 2020** 合同寄付キャンペーン「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」がはじまる。「第5回サンタdeクリーン大作戦&eスポーツ」では県内12団体に550万円の寄付をお届けする。
- 2021** 休眠預金を活用した「とちぎ新型コロナウイルス対応緊急支援助成」（助成総額2900万円）がはじまる。

一緒につくる

01 | プロジェクト

地域の課題をみんなで解決するために、課題を「調べ」、いろいろな力を「あつめ」、必要な活動を「つくって」いきます。企業、学校、病院、福祉施設、NPO、行政、ボランティア、地域住民など多様な人が関わっています。



子ども SUNSUN プロジェクト

困っている子ども、7人に1人。

貧困状況にある子どもとその家族に「必要な支援が届くこと」を目指します。NPO等の支援団体や市民が主体となり、学習支援・生活支援・居場所づくりを通じて「市民でできる貧困対策」を実施します。調査をして、ボランティア31,200人と、1人1,042円の寄付でなんとかなるという結果もできました。

2021年度は、「外国ルーツの子どもの貧困」の調査を実施しています。また、2年間で募った寄付を活用し、子どもSUNSUN助成金の分配も行います。

寄付総額
8,902,474円
2020年



新たに子ども食堂
スタート!



action!

あなたにもできること

環境、外国ルーツ、国際協力、文化、福祉などの分野で、みんなで調査し作戦を立てる「円卓会議」に参加したり、会議を開催したりしましょう。また、現在進行中の子どもSUNSUNプロジェクトに参加して、一緒に活動したり、仲間を増やしたりしましょう。



募金する、集める

02 | 合同ファンドレイジング

ファンドレイジングは、NPOの資金集めのことです。合同ファンドレイジングでは、「子どもの貧困をなくす」など共同のテーマで、一緒に資金を集めます。個人や企業など様々な人ともに寄付を集めることで、資金集めだけでなく、社会問題を広く知らせることになります。



子どもの貧困撃退チャリティ サンタ de ラン

サンタになって子どもの貧困をなくそう!

子どもSUNSUNプロジェクトの一環として、毎年12月のクリスマスの時期にチャリティイベント「サンタdeラン」を実施しています。300人が街中を集って一日サンタになり、子どもの貧困と支援活動の周知をはかります。参加費は、栃木県内の子ども支援団体への寄付になります。

寄付総額
26,808,368円
2016-2021年



サンタ de ラン実行委員長 塩澤 達俊さん

サンタdeランは《寄付月間2020の企画大賞》を受賞！過去5年延べ2,000人のサンタさんのおかげで「日本一」の寄付イベントに成長しました！魅力は「パートナーシップで課題解決」というSDGsなコンセプト。誰でもサンタになって、みんなの力で社会課題（子どもの貧困）解決に大きなインパクトを生み出しています。

チャリティウォーク

栃木の助け合いはフードバンクから。

フードバンク活動の周知と寄付集めのためのチャリティイベント。2013年から始まり、これまでに9+回実施しました。2020年度はチャリティウォーク県北18を開催し、参加126人、寄付170万円、食品998キロが集まりました。参加費はすべて県内6つのフードバンクへ寄付されました。

寄付総額
23,949,765円
2016-2021年



コロナ支え合い募金

つながれないから、つながろう。

コロナ禍で大変になっている子ども・家庭のための応援プログラムで、一般市民・企業などの多くの方から寄付をいただきました。いただいたご寄付は県内の13のプログラムに届けました。

寄付総額
8,859,841円
2020-2021年



「寄付つきお札」で応援!

宇都宮の正光寺では、ご住職が疫病退散にご利益のある「角大師(つのだいし)、黄ぶな、アマビエ」の三位一体のお札やステッカー、「Tシャツを作ってくださいました。浄財は全額「コロナで大変な子どもたちに」と寄付をいただきました。

action!

あなたにもできること

社会資源の解決のために必要な資源(人・モノ・志金)を集めましょう。ユニークな寄付集めイベントができちゃうかも?!

わたしたちと
ともに活動しよう!



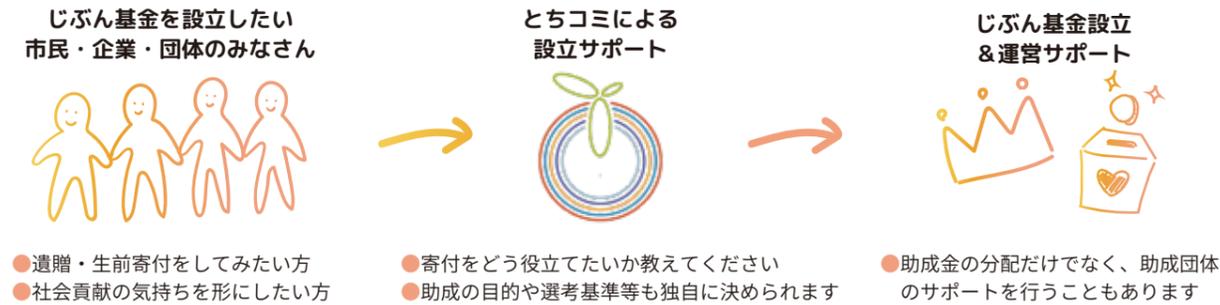
思いを託す

03 | 助成

助成とは、みなさんからの寄付を市民活動団体に託すことです。例えば、「自然保護を支援したい」「地域の福祉に貢献したい」など、テーマ・目的を決めて助成しています。助成金は特色のある活動をしている団体にお渡ししており、プログラムによって異なります。過去の助成についてはホームページをご覧ください。

また、企業・団体や個人からの寄付で、特にテーマを指定して応援したい場合に、『じぶん基金』を設立する支援も行っています。遺贈・生前寄付のご相談も承っています。地域の未来のため、思いを形にしてみませんか。

じぶん基金 設立の流れ



花王ハートポケット倶楽部

企業が設立！

心あたたまる栃木に。花王による基金

花王ハートポケット倶楽部による助成金です。花王株式会社では、社員の給与の一部から積み立てて社会貢献寄付プログラムを実施し、全国・地域のNPOを社員と企業で応援しています。栃木の地域助成は、毎年秋に募集を開始し、総額50万円をNPO（法人格問わず）に助成します。



花王株式会社

花王ハートポケット倶楽部は社員の寄付組織です。2007年から「とちぎコミュニティ基金」の冠助成として、のべ76件の助成を実施してきました。今後もより良い地域づくりに取り組むさまざまな団体を応援していきます。



2020年度 助成団体の活動の様子



ゆめ基金

NPO が設立！

障害者自身が他の障害者を支援する

自動販売機の缶の詰めかえを障害者団体に委託し、賃金を発生させる仕組みで、その一部を基金として積み立てています。高根沢町にあるNPO法人とちぎ障害者労働自立センターゆめが、ダイドードリンコ㈱と業務提携し、障害者の仕事づくりを行っています。



NPO 法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ 増田さん

ゆめ基金は、県内の障害を持った方などが自動販売機の補充作業をして積み立てております。多様な社会課題に気づき、活動を始めたいと考えている方々にこの基金を使ってもらい、活動のきっかけをつくれたらと思います。

たかはら子ども未来基金

個人が設立！

若者と地域に、未来への種まき。

子どもや若者の未来を応援する目的で、県北在住の夫妻が設立した基金です。境遇や生育環境に関わらず、全ての子どもや若者が等しく人生を拓く機会を得られることを目指します。2017年から学生が長期間、NPOにインターンシップをすることを助成で応援します。これまでに学生20人、18団体に助成をしました。



基金設立者

高原山の麓に育ち、社会に出て地域の人に支えられ、学び、経験をした。将来を担う子どもや若者が、貧困や孤立などで、教育機会や社会とのつながりをなくしている現実がある。人生の成長過程で一番大切な時期を、少しでも支援したい。若者が地域の課題を住民と共に考える機会が得られることを願う。



インターン生の交流会！

災害のための募金

救援・復旧活動を「支える」募金

復興期・復興期の「支える」活動を支える募金は、とちコミ設立前からとちぎボランティアネットワークの一事業として行ってきました。被災地での災害支援や復興支援、防災活動を行うボランティア団体、NPO、災害ボランティアセンターなどに寄付します。1997年から2021年まで、30回募金を募り、一般市民、企業など多くの方からご寄付をいただきました。



これまでに募金活動をした災害

- | | | |
|--|----------------------------------|---------------------|
| 1997/日本海重油災害 | 2003/宮城県北部連続地震 | 2011/東日本大震災・紀伊半島大水害 |
| 1998/那須水害 | 2004/新潟水害 | 2013/山口島根豪雨 |
| 1999/トルコ地震・台湾地震・那須八溝 | 2007/能登半島地震・岩手宮城内陸部地震 | 2014/広島水害 |
| 2000/有珠山噴火・三宅島噴火・東海水害・芸予地震・インドグジャラート地震 | 2008/兵庫県作用町水害 | 2015/ネパール地震・栃木茨城水害 |
| 2001/高知西部水害 | 2009/台湾 フィリピンベトナム水害・スマトラ地震・ハイチ地震 | 2016/熊本地震 |
| 2002/栃木市水害 | 2010/青海省地震・奄美黄島水害 | 2019/栃木県台風19号災害 |
| | | 2021/佐賀水害 |

休眠預金活用事業

ひとりにしない、させない助成

休眠預金の活用により、様々な困難を抱える人たちを支援したり、だれもが住みやすいまちをつくらたりする栃木県内の活動を助成金で応援する仕組みが2021年から始まりました。とちコミは、2021年度、2022年度の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に採択されました。



助成採択団体とプロジェクト名

- | | |
|---------------------------------------|---|
| NPO法人とちぎみらいwithピア「子育て世代人生の夢再構築プロジェクト」 | NPO法人フードバンクうつのみや「コロナ禍対策きずなセット提供プロジェクト」 |
| NPO法人サロンみんなの保健室「心身に不安のある方の無料健康相談支援」 | NPO法人那須高原自然学校<コンソーシアム申請>「自然体験を取り戻そう！！～とちぎの未来を背負う子どものために～」 |
| NPO法人風車「子どもたちのための無料の学習支援」 | NPO法人キーデザイン「不登校相談窓口支援と居場所つなぎ支援」 |
| NPO法人子どもの育ちを応援する会「子どもや保護者の支援」 | |
| 一般社団法人えんがお「コロナ禍で分断されたつながりの再構築事業」 | |

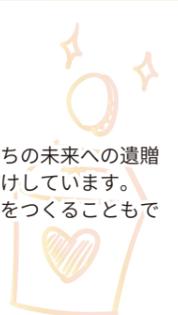


「助成金」をつくって活動を応援する

みなさまのお名前が「助成金」がつくれます（じぶん基金）。企業・団体や個人からの寄付で、特にテーマを指定して応援したい場合に、寄付者のお名前や助成目的を冠した特別枠のファンド（基金）を作ることができます。「わが町のために」という地域色のあふるファンドもぜひ。詳しくは、事務局までお問合せください。

終活に... 遺贈・生前贈与

あなたの思いを未来につなぐ。ふるさとの子どもの未来への遺贈（遺言による寄付）や生前贈与の活用と相談をお受けしています。ご自身の思いと資源を活用いただき、新しく助成金をつくることもできます。相続税の対象にはなりません。詳しくは、事務局までお問合せください。



私たちが 未来を変える。

ともにアクションしている仲間たち



一般社団法人えんがお 濱野 将行さん

とちコミは、栃木のNPOを繋ぎ支える大きな架け橋。
ひとりで起こす変化は小さくても、
一人一人が繋がれば大きな変化に変わります。これからも、栃木をつなぎ加速する活動に期待しています。



会社員 藤咲 健司さん

困っている方を支援する方々を応援し、さらに支援の輪を拡げていくのがとちコミの役割。「支援の支援」が求められている今こそ、企業で働く私たちだからこそできるボランティアが沢山あります！



ボランティア 羽石 洋子さん

行政の支援を受けられない人や団体が沢山あります。見て見ぬふりをせず、できることを楽しみながらやっていく。手助けや志金の贈り物をする事で、心が豊かになり、幸せをいただく。仲間を取り組み社会に広げていきましょう！！

ご寄付・ご支援のお願い

とちコミでは、各ファンドレイジング・プロジェクトにおいて、寄付を募っています。また、みなさまのお名前でも「助成金」をつくることや、遺贈・生前寄付もお受けします。**栃木の未来のため、子どもたちの未来のために、みなさまのご協力が不可欠です。**みんなで栃木の未来をつくりましょう。

寄付をする

● クレジットカード決済

ホームページからお手続きください
<https://www.tochicomi.org/donate/>

● 銀行

栃木銀行馬場町支店 普通9918708
名義 (特非)とちぎボランティアネットワーク 理事 矢野正広
※領収書発行のため電話等でお名前、ご住所をお知らせください。

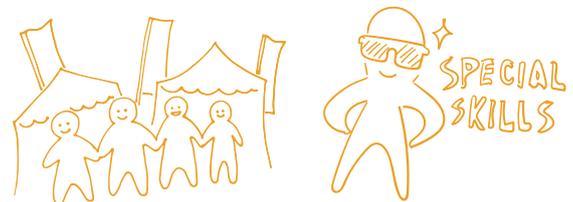
● 郵便局

口座番号 00110-8-281282
加入者名 とちぎコミュニティ基金



ボランティアとして支援

チャリティイベントなどの寄付集めや、啓発イベントの実施の際にボランティアを募集しています。また、プロの技を活かしたプロボノもあります。スキルや経験を課題解決に活かしてくれる方も募集しています。



〒320-0027 栃木県宇都宮市埜田 2-5-1 共生ビル 3階
認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク内
電話 028-622-0021 FAX 028-623-6036
メール info@tochicomi.org
ホームページ tochicomi.org
受付時間 10:00 ~ 18:00 (日・月・祝を除く)



とちコミ 検索